

# 東海中新聞

素敵な言葉を使いたい

校長 今枝 武司

体育大会が始まる前、三年生のある女子生徒から「校長先生、体育大会終了後、お時間いただけますか。その時に先生方もできるだけ集めてほしいのですが、よろしいですか」と提案されました。その時は何だろうと思いましたが、承諾しました。体育大会後、指令台の前に三年生が集合し、先頭にその女子生徒がいました。その時私は「東風についての思いを話すのだな」と思いました。しかし、彼女は意に反してこんな言葉を発しました。「いくら私たちが東風をやりたいと言つても、それを校長先生が許していただけなかつたら、東風はできませんでした。東風をやるという決断をしていただき、本当にありがとうございました」とです。こんなことを思っていたのだと、私の予想をはるかに超える言葉に圧倒され感動しました。

こんなことを思える集団、生徒がいるということを素敵だなと思いました。言葉が発する魔力みたいなものを感じました。

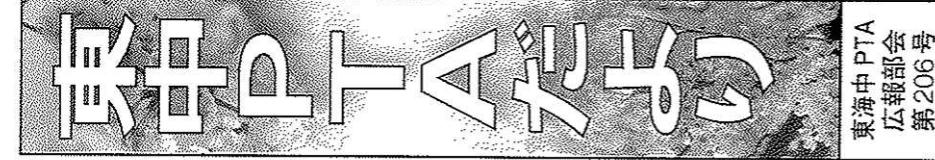
またある時、部活動の練習試合を体育館のドアの外から見ていると、ある部のキャラテンが私のところにやってきて「校長先生、中で見てください」と言つてくれました。私は「試合の邪魔になるからここでいいよ」と言つと、「私の活躍する様子をもっと近くで見てください」と、笑顔で言つのです。この言葉にも感動しました。自信に満ち溢れたその言葉に導かれるように中に入り、練習試合を観戦しました。案の定、その生徒は活躍し練習試合を終えました。

この二つのエピソードのどちらも、生徒自身の言葉であり、心からの言葉だと思います。決して誰から書われたり、促されたりしたものではないでしょう。素晴らしいことです。

素直な言葉、感謝に満ちた言葉、自信の溢れた言葉、優しい言葉は人を勇気づけ、感動させ、安心させます。でも、心無い言葉は刃となつて人を傷つけることもあります。そんな言葉は使わずに、素敵な言葉を使いましょう。間違えたら素直に謝ればいいし、自信があるのなら堂々と発すればいいのです。言葉のもつ素敵な魅力、再発見の秋です。



▲令和2年度 PTA役員のみなさん

東海中PTA  
広報部会  
第206号

## 専門委員会の活動だより

父母教師会会长 安達 友隆

今年度はコロナ感染拡大予防に伴い例の様な活動を行えていませんが、大変な時だからこそ大きく変わつていけるチャンスの時だと思いまい、父母教師の会役員、各学区の理事の皆さんと一緒に、学校を全力でサポートしていきたいと思っていま

す。新しい東海中学校の歴史を、み

んなの力を合わせて、作っていきましょう。よろしくお願い致します。

安全指導委員長 大須賀 誠

東海中学校の通学路は朝の通勤車両と生徒の時間帯が重なっております。危険箇所も多々あります。本年度は、コロナウイルスにより活動が行い難いのですが生徒達一人ひとりが安全に通学出来る様、安全活動を行っていきたいと考えております。交通ルールは私達、保護者も守り、守らせるを意識し、皆様の協力のもと、よろしくお願いします。

文化教養委員長 加藤 信良

今年度は、コロナ感染拡大の為、異例のスタートとなりましたが、文化教養委員会の目的は、文化活動やサークル活動を通じ会員相互の教養を高め、親睦を図る事です。

今年も講師を招き、工芸、陶芸の作品作りを開催する予定です。



▲飛散防止フィルム貼り

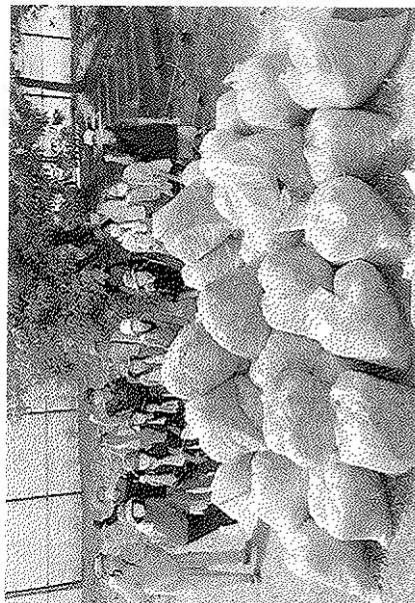
容が違いますが、子供達が健全な学校生活を送れるように一年間務めさせて頂きます。

広報委員長

日井 保隆

本年の活動は、新型コロナウイルスの関係で半年間、活動自粛という形でスタートとなりました。

六月からPTA活動が再開し広報委員も「東海中PTAだより」で地域の活動を各地区の理事とアイデアを出し合ひ協力し、紹介出来ればと思います。発行にあたり保護者の皆様、地域の皆様方には取材・原稿の依頼をさせて頂く事がありますがご協力をお願い致します。



▲草刈り

生活指導委員長 関森 龍哉

今年度は、学校行事などが中止となる中で、子供達、ご父兄の皆様方におかげましても多くのストレスを抱えている事と思います。そんな中なるべく学校行事を安全に開催、そして安心して参加頂けるよう生活指導の一環として委員会一同、知恵を絞ってまいります。例年の活動と内

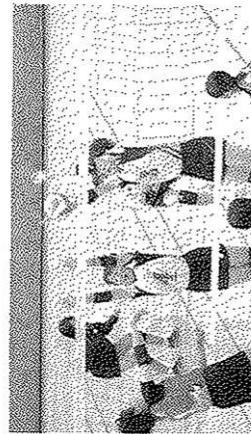
## 市長杯

ありがとう、市長杯

三年生保護者

新型コロナ感染拡大の影響で練習ができない日々。休校期間、女子バレー部は自主的に運動場で練習していました。その姿に市長杯にかける特別な思いを感じました。

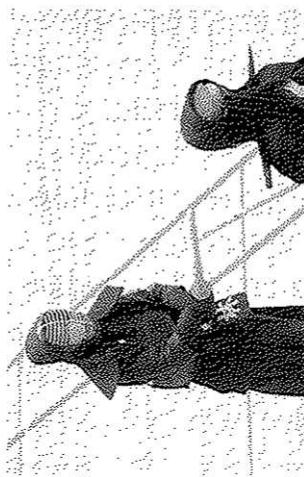
対戦相手は北中でした。一セット目は取ったものの、二セット目は取られてしまいました。応援席から見守る親達もとても力がはいっていました。勝たせてあげたいと祈るばかりでした。三セット目はリードしていたものの、点差が縮まりデュースまでいき、結果負けてしまいました。最後の一点まであきらめず、仲間に声をかけ合い全力のプレーにとても感動しました。目標に掲げていたみんなに応援される「愛されるチーム」になりました。三年



## 市長杯を終えて

三年生保護者

最初で最後の試合となつた市長杯



は、惜しくも一回戦で敗退でした。三年生にななつたら練習に大会に頑張ろうとしていた矢先、コロナ感染拡大によって休校になりました。部活動も大会も全て中止となり、思うような練習もできませんでした。

ようやく学校が再開し、最後の大会に向け一生懸命、練習に取り組む娘の姿を見ながら、改めて当たり前だと思っていた日常のありがたさ、大切さを感じました。

自粛生活により悔しい思いで終わってしまった市長杯でしたが日々の生活を見直す機会になりました。中学生活も残り半年ですが、当たり前を大切に一日一日を送つていけるようこれからもサポートしていきたいと思います。

## 体育大会

体育大会を観戦して

一年生保護者

年々暑さが増して、当日の天候も心配でしたが、晴天に恵まれました。

コロナウイルス感染拡大の中、感染防止対策を行い、初めての中学校の体育大会がこのような形で無事に開催される事ができ、何よりです。

短い練習期間の成果を精一杯發揮できるように、互いに励まし応援し合い競う姿は、觀てる人々の心を温かくしました。リレーでは、次の人にはバトンを繋げる為に、真剣な表情で全力で走る姿が印象に残りました。そして、運動が得意な子、苦手な子、全員が協力して一生懸命頑張る姿に感動し、また一回り成長した姿を感じました。

このコロナ禍の中で、生徒の皆さん、先生方、保護者が一つになれた素晴らしい大会が、無事に行われて、良かったと思います。

## 成長を感じた体育大会

二年生保護者

前日の大

雨、また、例年とは違

うコロナ禍

での開催で

晴れの中、秋

無事行うこ

とができ、

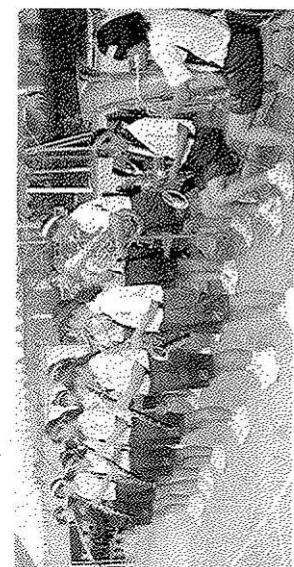
ほつとしま

した。

いつもど

は違う瞬間

が

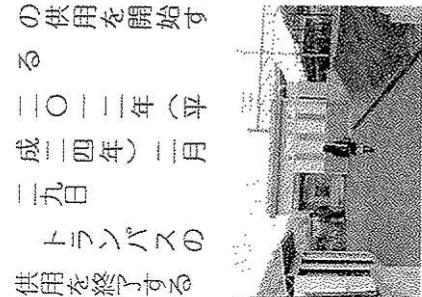


気での練習に、不安もあったかと思いますが、子どもたちのいつもと変わらず元気な姿を見て、嬉しく思いました。また、競技に参加する子どもたちの姿に心を打たれ、自分の子

だけでなく、他の子どもたちの成長も感じることができました。今日の

嬉しかった経験も悔しかった経験も、また一つの成長の証だと思いました。これからの中学校生活にも活かして欲しいです。

今回は、先生や役員理事の方々には大変な気苦労もあったかと思いまが、とても素晴らしい体育大会でした。ありがとうございました。



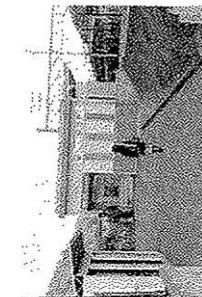
▲10年前の藤川駅

みなさん、藤川駅を利用したことがありますか。町民の生活の足となる藤川駅の歴史、利用状況などを調べてみました。

#### ●駅のあゆみ

一九二六年（大正十五年）四月一日 愛知電気鉄道により開業  
一九三五年（昭和十年）八月一日 名岐鉄道への合併により名古屋鉄道が発足したため、同社の駅となる  
一九四八年（昭和二十三年）十一月以前 無人化

一〇〇五年（平成十七年）十二月十四日 駅集中管理システム開始およびトランパス導入  
一〇〇八年（平成二十年）十二月七日 ダイヤ改正により準急停車駅に昇格  
一〇一年（平成二十三年）一月十一日 ICカード乗車券「まなづか」の供用を開始す



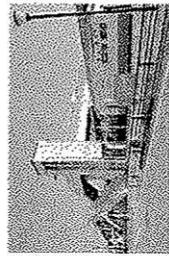
▲現在の藤川駅

●概要

準急と普通が停車し、かつては平日朝に急行も数本停車していましたが、下りの当該列車は準急に変更さ

れ、また東岡崎での接続改善されたため、急行は停車しなくなりました。近隣の高校にあわせて、テスト期間中や半日授業時には、下校時に合わせて昼間の急行の臨時停車がよく行われています。

西側には踏切がありましたが、上ホームを行き来するにはこの踏切を通りなく、反対ホームに止まっている電車に乗りうとした高校生が閉まっている踏切に無理矢理進入することしばしばあり、それによって電車にひかれ死にする事故も過去に何度も発生していました。このため、一〇一年（平成二十三年）十月に踏切が廃止され歩道橋が設置されました。これは岡崎市の事業として近隣の国道一号線沿いに「道の駅藤川宿」ならびに「岡崎市東部地域交流センター・むらさきかん」



▲現在の藤川駅

を整備する「藤川地区整備事業」の一環として行われました。

#### ●利用状況

駅周辺に学校が多数存在することから近隣の同規模の駅に比べて乗降者数は圧倒的に多いですが、昼間は普通列車しか停車しません。学校が休日となる日曜・祝日や学校が夏学期休業に入る時期などは利用者が極端に少なくなります。

岡崎市内、一年間の各駅乗降人員で一番多いのは東岡崎駅、二番目は美合駅、三番目は矢作橋駅、四番目は本宿駅、五番目は藤川駅です。ちなみに名鉄二百七十五駅中、八十五番目です。

#### ●藤川駅周辺の施設

（道の駅）

平成二十四年九月十四日に道の駅として登録され、愛知県内の道の駅としては、十五ヶ所目で国道一号では初めての道の駅です。施設全体の来訪者数は、推定八十万人です。

#### 藤川宿の「初めて」

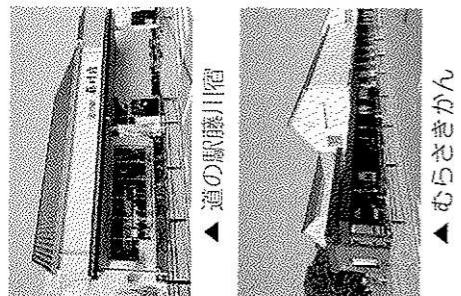
(1)国が整備している道の駅として中部

地方で初めて駐車場照明にLEDを採用

- (2)愛知県内で初めて電気自動車の充電施設を設置
- (3)国が整備している道の駅として愛知県内で初めて太陽光発電を採用
- (4)愛知県内で初めて防災施設（防災トイレと非常用発電機）を設置

ムラさきかん

市民活動、地域活動を応援する施設です。活動場所の提供や各種相談業務、印刷機器の貸し出しなどを行っています。



▲むらさきかん

#### 編集後記

今年度は、新型コロナウイルスの影響により自粛が続いていますが、藤川の町並みを歩いてみてはいかがでしょうか。

藤川学区広報委員会

黒柳 愛 磐谷典子  
金子美紀 外狩理奈

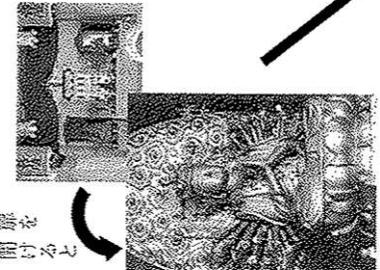
A vertical rectangular sign with a black border. Inside, the word "本宿" is written vertically in large, bold, white characters. Below it, the characters "駅見録" are also written vertically in white. The background of the sign features a black and white photograph of a train, likely a Shinkansen, passing through a station platform. Above the sign, there is some smaller text and a small graphic of a person's head.

幸徳政

今は、もう秋…神無月。そろそろ京都が懲しくなる季節。でも、コロナが心配。そんな方にお勧めなのが、旅館です。夏に広報委員4人で訪れたところ、宮大工の建てた雰かな造りの本堂、庭木の美しい枝葉、ほのかに漂う上品なお香の薰り、温厚で聰明な住職のお話、それは緊密なお寺でした。そして裏山山頂からの、まるでサガエさんのおアーピングの絵のように空撮写真

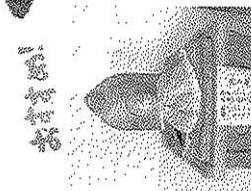
“そうだ、コロナだ。三審遞けた、後悔毒へ行こう!!”

羅志  
備註



「千手觀音像」  
一年に一度、1月18日  
時間だけ遅れ開き、平手  
を揮ふる。能観できるそうです。

合掌してから両手で抱きかかえてください。蝶く上がる時は頬いが叶うと喜んでいます。



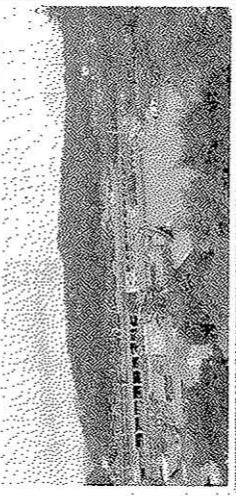
抱き地蔵



「釋迦三尊圖」



突然の訪問にも快く案内して下さった住職



遠山山頂から見える本宿の景色



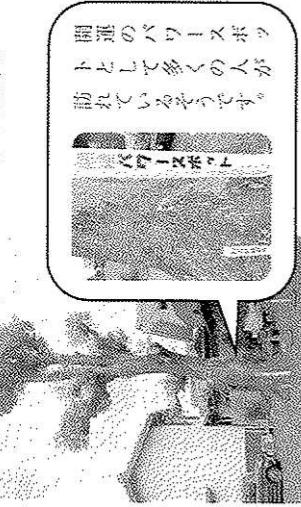
岡崎市指定文化財



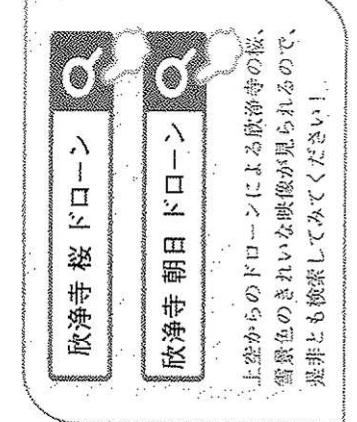
東山山頂に續く道



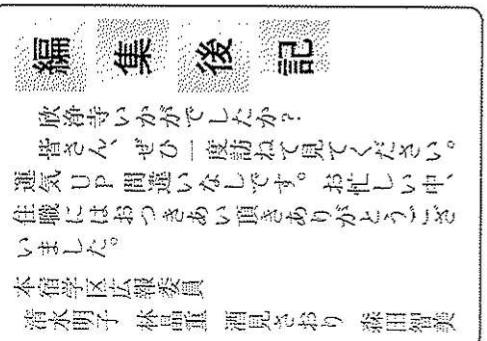
「二相対面図」左と「二河白道」右を表した彫刻の欄間を見る



「樹齢100年を超す大楠」



雪景色のきれいな映像が見られるので是非とも検索してみてください。



体育大会結果									
PTA種目	男子		女子		男		女		優勝
	総	一組	総	一組	三組	二組	三組	二組	
三年	男	子	女	子	男	子	女	子	三位
P T A種目	四組	一組	三組	一組	四組	一組	三組	二組	
二年	男	子	女	子	男	子	女	子	二位
P T A種目	四組	一組	三組	一組	四組	一組	三組	二組	
一年	男	子	女	子	男	子	女	子	一位
P T A種目	四組	一組	三組	一組	四組	一組	三組	二組	

## 新記録賞

一年生 八〇m

二年生 二〇〇m

三年生 ハンドボール投げ

## 成長できた東風

三年四組

東風の練習の時、「曲が聞こえました。」二年生の感想だと星山先生に告げられました。この時、自分たちの力不足だということを痛感しました。

僕たちの東風は新型コロナウイルスの影響で例年と大きく変わつたものとなりました。組み立てはなし、密になるような動きもなし。では、何ができるのかを実行委員会員で考

えました。もちろんこの状況下なので今までとは練習量もまったく異なり、実行委員でさえも夏休みの期間、必死に肺りを覚えました。本番前の下見では、多数ミスもあり、本番への不安が生まれました。でも、だからこそみんなで危機感を持ち、残り少ない練習時間大切にすることができました。練習本番は大成功。素晴らしい東風だったとたくさんの人から言われ、とても嬉しく思いました。

今年のテーマは成長でした。どんな状況でも人間は成長します。その中で必ず何かの助けを求めます。九代目の東風となつた僕たちもいろいろな助けがあつて成り立ちました。支え合つるのは友達だけでしょうか、先生方だけでしょうか。僕はそうは思いません。成長するには全員で助け合つことが必要だと思います。この先の困難にも全員で立ち向かい、より成長していきたいです。

## 感動を借返した!

三年一組

今年は例年と違い、コロナ禍で体育大会を行わなければならなかつた。実行委員の最初の詰合いで学年別に行う意見が出ていたが、生徒たちで話し合いを重ね、何とか例年に近

い形で実施することに決まった。

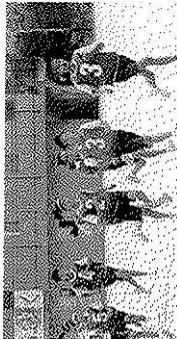
僕は、実行委員長として、憧れていた選手宣誓を行うことになった。朝早く登校したり、昼の放課の時間を使つたりして何度も練習した。本番は、テーマである「感謝・輝き・感動を借返し」を胸に秘め、体育大会を行うことができる喜びを思いに込み、全力の声を出して選手宣誓をやりきることができた。

当日、東中生全員が競技や演技で輝き、今までにないくらい最高の体育大会を行うことができた。クラスでも総合優勝を取ることができ、良い思い出になった。東中のみんな、ありがとう。

## 笑顔でつかみとつた優勝

二年一組

個人種目に出ている人に対して、どのような応援をするのがいいか考えました。僕は、笑顔で応援するのがいいと思いました。なぜなら、笑顔でいると、みんなが楽しくなり、盛り上がるからです。リレーも同じで、笑顔でバトンパスをしました。笑顔を欠かさないことが大事だと分



きました。

今回の優勝は、二年一組全員が笑顔でつかみとつた優勝でした。みんなの笑顔が見られて、充実した体育大会でした。

## 全員で作りあげた体育大会

一年三組

今年はコロナウイルスの影響で学校生活が始まるのが遅れた中で、体育大会ができてとてもうれしかったです。当初、中学校の体育大会がどのような感じで行われるか分からなかつたので、いろいろ不安がありました。しかし、三年生がみんなで一生懸命クラスを問わず応援している姿を見てすごいと思い、不安も吹き飛みました。

体育大会本番、三組はリレーで一番をとつたり、個人種目で新記録を出したりする子もいたりして、結果、一年生の中で総合優勝が取れました。総合優勝が取れたのは、選手だけでなく、「頑張れ!」と応援するクラスの人たちと全員で勝ち取つた結果だと思いました。

三組は、優勝や新記録を出すことができましたが、練習の一歩前進を忘れず、クラスの一人一人がこれからもどんどん前進していくといいと思います。